

科目名	介護コミュニケーション	担当講師	原田和美 ・森川康弘・矢野芳春
授業形態・単位数	演習 60 時間・4 単位	開講学年	1 学年 通年
評価基準	筆記試験 (80%)、演習参加・提出物 (20%)		
目標	1. 介護場面における基本的態度を習得する。 2. コミュニケーションの意義と目的を理解する。 3. コミュニケーション技法の目的や効果を理解し、具体的な活用法を理解する。 4. 障がいを抱える利用者へのコミュニケーション技術を理解する。 5. 利用者や家族、多職種協働によるチームコミュニケーションを理解する。		
回	講義内容	方法	
1	介護場面における基本的態度① (日常生活に必要な挨拶)	講義・演習	
2	高齢者とのコミュニケーション (高齢者が生きた時代を知る)	講義・演習	
3	高齢者とのコミュニケーション (高齢者が生きた時代を知る)	講義・演習	
4	介護コミュニケーションの実際① 利用者家族とのコミュニケーション	講義・演習	
5	介護コミュニケーションの実際② 介護の場でのコミュニケーション	講義・演習	
6	介護コミュニケーションの実際③ 他職種とのコミュニケーション	講義・演習	
7	介護におけるコミュニケーションの役割① 意義、目的、役割	講義・演習	
8	介護におけるコミュニケーションの役割② 自己理解と利用者理解	講義・演習	
9	介護におけるコミュニケーションの役割③ 自己理解と利用者理解	講義・演習	
10	コミュニケーション技法① 話を聞く・感情表現を察する	講義・演習	
11	コミュニケーション技法② 意欲を引き出す・複数の利用者への技法	講義・演習	
12	コミュニケーション技法③ 納得と同意・質問・相談・助言・指導	講義・演習	
13	試験・まとめ (前期分)	試験	
14	利用者の特性に応じたコミュニケーション① コミュニケーション障害とは	講義・演習	
15	利用者の特性に応じたコミュニケーション② 認知症の方とのコミュニケーション	講義・演習	

16	利用者の特性に応じたコミュニケーション③ 失語症の方とのコミュニケーション	講義・演習
17	利用者の特性に応じたコミュニケーション④ 発達障がい・知的障がい・精神障がいのある方とのコミュニケーション	
18	利用者の特性に応じたコミュニケーション⑤ 視覚障がい・聴覚障がいの方とのコミュニケーション	講義・演習
19	チームコミュニケーションの方法と必要性・会議の種類 介護における報告・連絡・相談	講義・演習
20	カンファレンスとは	講義・演習
21	カンファレンスの運用	講義・演習
22	コミュニケーションの技法④ プロセスレコードとは	講義・演習
23	コミュニケーションの技法⑤ プロセスレコードの方法	講義・演習
24	コミュニケーションの技法⑥ プロセスレコードの実際	講義・演習
25	利用者の特性に応じたコミュニケーション⑥ ユマニチュードとは	講義・演習
26	利用者の特性に応じたコミュニケーション⑦ ユマニチュード（優しさを伝える視線の技術）	講義・演習
27	利用者の特性に応じたコミュニケーション⑧ ユマニチュード（話しかけることの技術）	講義・演習
28	利用者の特性に応じたコミュニケーション⑨ ユマニチュード（触れることの技術）	講義・演習
29	利用者の特性に応じたコミュニケーション⑩ ユマニチュード（心をつかむ）	講義・演習
30	試験・まとめ	テスト
テキスト・参考書		新・介護福祉士養成講座 5.コミュニケーション技術（中央法規）他